Heartful Innovation
INFRATEC

ゆとり やすらぎ あたたかさのある街づくり それが私たちのコンセプトです。

# 舗装ブロック総合カタログ

マリンポート(鹿児島県鹿児島市)

インフラテック株式会社

2020.10

# 舗装ブロック分類

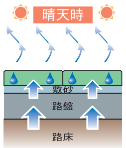
インフラテックの舗装ブロックは形状･仕様と機能の組合せで10種類の製品を取り揃えています。

ピクト表示について 標 標準 透 透水 保 保水 保透 保水･透水 R リサイクル

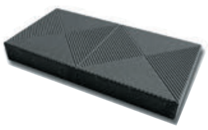
| 機能 ＼ 形状･仕様 | 標 準（ノーマル） | バリアフリー（ユニプレーン） | ショットブラスト（レイントーン） |
|---|---|---|---|
| 標 準 標 | インターロッキングノーマル<br>通称:ノーマル 誘 | ユニプレーン標準<br>ユニ標準 | インターロッキングレイントーン<br>通称:レイントーン |
| リサイクル+保水性（クールトーン）<br>再生材料を使用 石炭灰、鉄鋼スラグ·60%<br>エコマーク認定番号 第03109046号<br>R 保 | クールトーンインターロッキング(保水)<br>通称:クールノーマル(保水) 誘 | クールトーンユニプレーン(保水)<br>通称:クールユニ(保水) | クールトーンレイントーン(保水)<br>通称:クールレイントーン(保水) |
| リサイクル+保水透水（クールトーン保水透水）<br>再生材料を使用 石炭灰、鉄鋼スラグ·70%<br>エコマーク認定番号 第03109047号<br>R 保透 | クールトーンインターロッキング保水透水<br>通称:クールノーマル保水透水 | クールトーンユニプレーン保水透水<br>通称:クールユニ保水透水 | |
| 透水性 透 | インターロッキングノーマル透水<br>通称:ノーマル透水 | ユニプレーン透水<br>通称:ユニ透水 | |

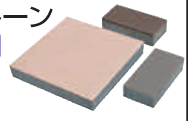
誘 視覚障害者誘導用ブロック製造可能

# INDEX


## クールトーン
ヒートアイランド抑制製品
保水 R 保
保水透水 R 保透


P3

## ユニプレーン
バリアフリー対応平板
標 透 R 保 保透

P5

## インターロッキングブロック
ノーマル
標 透 R 保 保透
レイントーン
標 R 保

P6

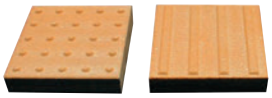
## 透水性製品
透

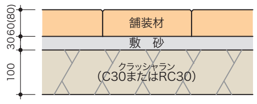
P7

1

## 実績写真集

P8

## 視覚障害者用誘導ブロック
標 R 保

P9

## 舗装構造図


P10

## みぞピタ/エッジボード
防草シール材

GRC製仕切り板
P11

# クールトーン(保水)〈ヒートアイランド抑制製品〉 R 保

九州電力
ずっと先まで、明るくしたい。
クールトーンは九州電力株式会社との共同開発エコ商品です。

ちきゅうにやさしい
再生材料を使用
石炭灰、鉄鋼スラグ・60%
エコマーク認定番号
第03109046号

## リサイクルとヒートアイランド抑制でダブルの環境効果

### ●特長

**1.エコマーク**
石炭灰(クリンカアッシュ)をリサイクルしており、エコマークの認定も受けています。

**2.保水性**
保水性機能を有しているため、打ち水効果が持続し舗装路面温度の上昇を抑制できます。

**3.吸水性**
吸水性に優れているので、表面に水たまりができません。

**4.軽量**
標準品に比べ約2割軽量で、敷設やカッティングが容易なため、施工性に優れています。

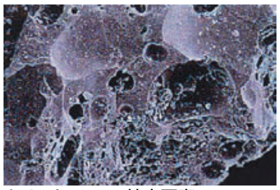
**5.バリエーション**
ノーマルタイプやレイントーン、ユニプレーンなどの形状·寸法·カラーでの製造が可能です。

**6.強度**
強度はインターロッキングブロックの基準を満たしています。

火力発電所から発生する副産物として、石炭灰(フライアッシュとクリンカアッシュ)があります。フライアッシュはコンクリート用材料として、さまざまな利用性が検証されています。

クリンカアッシュもフライアッシュと同じ組成であることから、いろいろな用途への利用が期待されています。

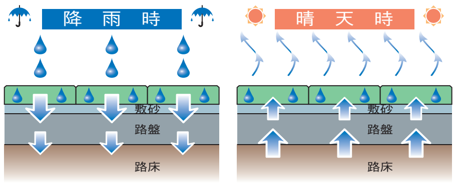
また、クリンカアッシュには多孔質という特性があり、この特性を活かした保水性能を有する製品の製造が可能です。



クリンカアッシュ拡大写真

### クールトーンの打ち水効果

降雨後、保水性能を持つクールトーンに蓄えられた水が蒸発し、その時の気化熱で表面温度を下げます。また、路盤·路床に蓄えられた水が毛細管現象によりクールトーンに吸い上げられ、温度を下げる効果が持続します。



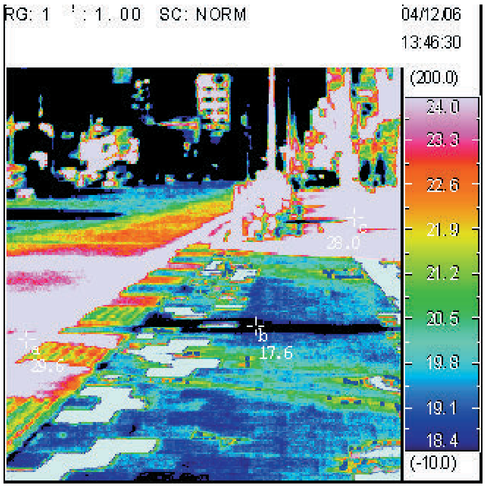

### ■物性値

| | |
|---|---|
| 曲げ強度 | 5.0 Mpa以上 |
| 滑り抵抗値 | 60 BPN以上(湿潤状態) |
| 保水量 | 0.15 g/cm³以上(150ℓ/m³以上) |
| 再生材料混入率 | 60 %以上 |

※車道、大型車主体の駐車場·車両乗入れ部にも適用できます。

鹿児島市国道3号に敷設したクールトーンのサーモグラフィーによる写真です。クールトーンの部分が温度の低い青系に写り、アスファルトや従来の擬石平板の部分が温度の高い赤系に写っています。

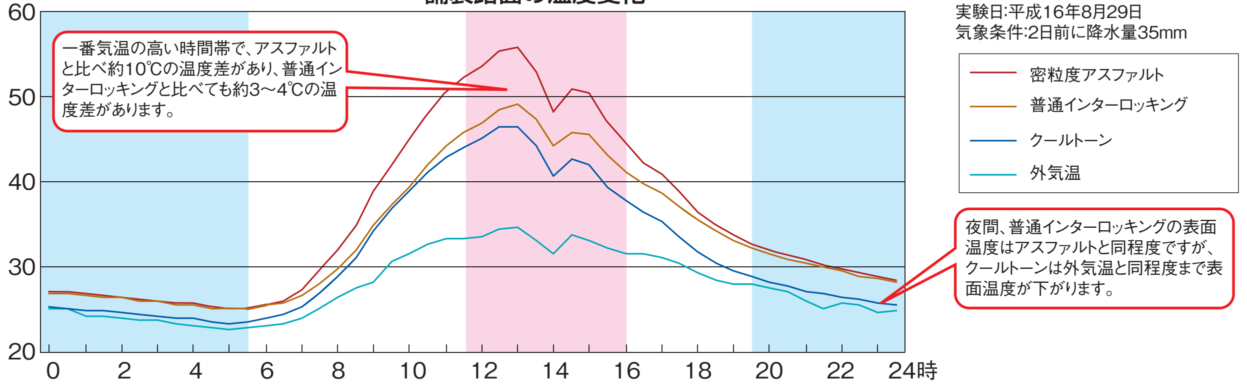
一番温度の上がる時間帯で、表面度に約10℃の差が出ます。



※赤線内がクールトーン

### 舗装路面の温度変化

実　験:太平洋セメント中央研究所
実験日:平成16年8月29日
気象条件:2日前に降水量35mm



# クールトーン(保水・透水)〈ヒートアイランド抑制製品〉 R 保透

九州電力
ずっと先まで、明るくしたい。
クールトーンは九州電力株式会社との共同開発エコ商品です。

ちきゅうにやさしい
再生材料を使用
石炭灰、鉄鋼スラグ・70%
エコマーク認定番号
第03109047号

## 従来のクールトーンに透水機能をプラス。

### ●特長

ブロック1枚
(300×300×60mm)

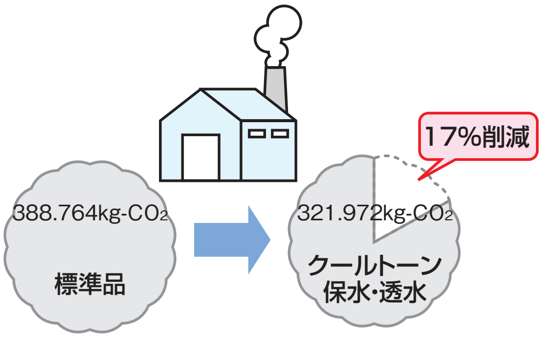
最大で1.5リットルの水を蓄えます。

■物性値

| 項　目 | 実測値 | 歩行者系道路における規格値 |
|---|---|---|
| 曲げ強度(Mpa) | 4.3 | 3.0 |
| 滑り抵抗値(BPN) | 69 | 60 |
| 保水量(ℓ/m$^3$) | 284 | 150 |
| 透水係数(m/s) | 6.9×10$^{-4}$ | 1.0×10$^{-4}$ |

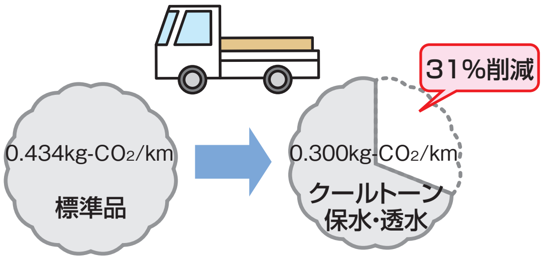
### ■クールトーン(保水・透水タイプ)$CO_2$削減効果

**製造時**　1m$^3$当たりの使用材料による$CO_2$排出量を算出(単位:kg-$CO_2$)




**製品輸送時**　1m$^3$の製品を1km運搬に伴う$CO_2$排出量を算出(単位:kg-$CO_2$)

標準品とクールトーン(保水・透水)を2t トラックで運搬する場合の$CO_2$排出量を比較。




| 項　目 | 重量 kg/m$^3$ | $CO_2$排出量 kg-$CO_2$/km |
|---|---|---|
| 標準品 | 約2,170 | 2.170t×0.200kg-$CO_2$/kmt<br>=0.434kg-$CO_2$/km |
| クールトーン保水・透水 | 約1,500 | 1.500t×0.200kg-$CO_2$/kmt<br>=0.300kg-$CO_2$/km |

※参考資料:コンクリート構造物の環境性能性照査指針(土木学会)

▲クールノーマル(保水):鹿児島市環境未来館

▲クールノーマル(保水):九州電力様霧島支店

# ユニプレーン 意匠登録第1181060号〈バリアフリー対応平板〉

標 透 R 保 保透

## 震動の低減、すべり防止、排水性の向上を兼ね備えたユニバーサルデザイン

### ●特長

**1.目地部分の振動を大幅に低減**
従来のコンクリート舗装材に比べ、目地間隔を狭くすることで、車椅子、自転車やベビーカーなどの通行時の振動を大幅に低減しました。また表面スリットで連続して生じる微少振動により、目地部での振動が体感されにくくなりました。

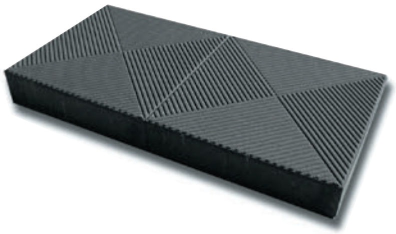
**2.排水機能の向上と快適な歩行感**
平板中央から4方向にスリットが向かっているために滑りにくく、また雨天時にも雨水が目地部分から地下に効率よく排水されます。

**3.機能の全方向性**
スリットが4方向に向かっているために、どのような角度で通行しても製品の特長が発揮されます。

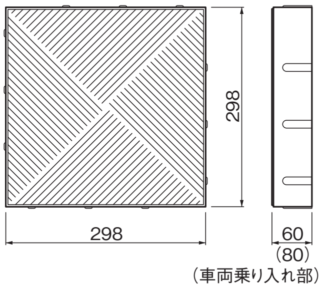
**4.意匠性**
スリット部の陰影が光線の角度により変化するため、見る角度により舗装面のイメージが異なります。

**5.カラーバリエーション**
インターロッキングノーマルと同じカラーバリエーションがあります。

**6.透水性・保水性**
透水性タイプや保水性タイプ、保水・透水タイプにすることも可能です。

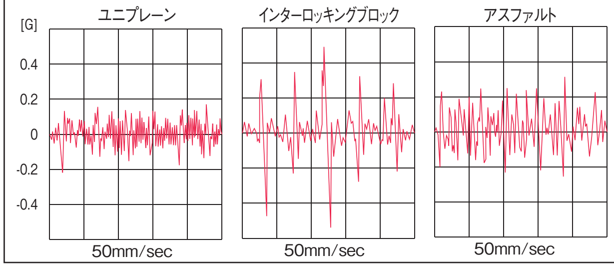


### ■形状・寸法




### ■振動計測結果(トヨタ車体研究所による実験)

測定方法
車椅子クッション上に60kg負荷し、前輪に加速時計を取り付け、テスト路面を3Km/Hrで手押しし、G(加速度)を測定した。
テスト路面はユニプレーン、インターロッキングブロック、アスファルト(やや粗い)とした。



▲振動試験計測状況

※大型車両が乗入れする箇所では、破損の恐れがありますので、レンガブロック中・小の使用をお勧めいたします。

### カラーバリエーション(ユニプレーン)

ホワイト　グレー　ブラック　ベージュ　ダークブラウン　オレンジ　レッド

●写真の製品の色は、印刷のため色調や質感が実物と若干異なる場合があります。

**ピクト表示について** 標 標準　透 透水　保 保水　保透 保水・透水　R リサイクル

# インターロッキングブロック〈ノーマル·レイントーン〉

## ●特長

**1.豊富な形状とカラー**
形状とカラーが豊富で、多種多様な現場に対応することができます。

**2.実績**
インターロッキングはこれまでに数多くの実績がある、一般的な製品です。

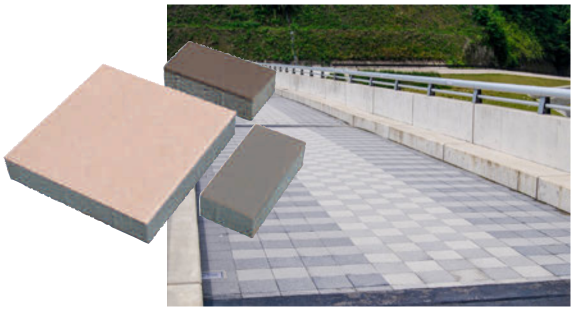
**3.透水性·保水性**
ノーマルは透水性タイプや保水性タイプ、透水·保水タイプに、レイントーンは保水性タイプすることが可能です。

**4.経済性**
ノーマルは比較的に安価で経済性に優れています。

**5.自然で柔らかい表情(レイントーン)**
レイントーンは表面がショットブラスト加工になっており、従来のインターロッキングブロックにはない自然で柔らかい表情を持っています。

**6.摩擦抵抗が大きい(レイントーン)**
レイントーンは表面がショットブラスト加工による適度な凹凸により、摩擦抵抗が大きく、雨天でもすべりを防止し、快適な歩行感を提供します。

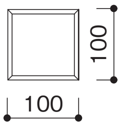
### ノーマル
標 透 R 保 保透



### レイントーン
標 R 保

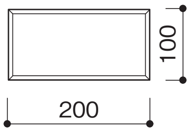
■形状・寸法

●レンガブロック小




使用量（個/m²）=100
T=60・80

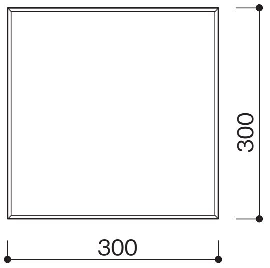
●レンガブロック中




使用量（個/m²）=50
T=60・80

●平板大

使用量(個 /m²)＝11.1
T=60・80




※大型車両が乗入れする箇所では、平板大(300×300)は破損の恐れがありますので、レンガブロック中·小の使用をお勧めいたします。

## カラーバリエーション(ノーマル)

ホワイト　グレー　ブラック　ベージュ　ダークブラウン　オレンジ　レッド

## カラーバリエーション(レイントーン)

白　灰　黒　橙　濃茶　薄橙　赤

●写真の製品の色は、印刷のため色調や質感が実物と若干異なる場合があります。

ピクト表示について　標 標準　透 透水　保 保水　保透 保水·透水　R リサイクル

# 透水性製品

透

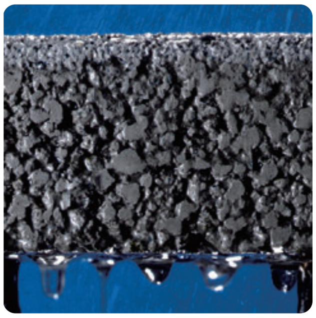
## ●特長

**1.水たまり防止**
透水効果により雨水や散水で表面に水たまりができるのを防止します。

**2.エコロジー及び防災**
地下に浸透した水は樹木の成長を促し、さらに地下水として循環されます。また、雨水を直接排水しないため、雨水の下水道･河川等への突発的な流入を防止し、流水量抑制の効果が期待できます。

**3.透水性舗装ブロックのラインナップ**
ユニプレーン･インターロッキング（ノーマル）の透水タイプを取りそろえています。

▲ノーマル透水(ベージュ･ホワイト)



透水係数1×$10^{-4}$m/s以上

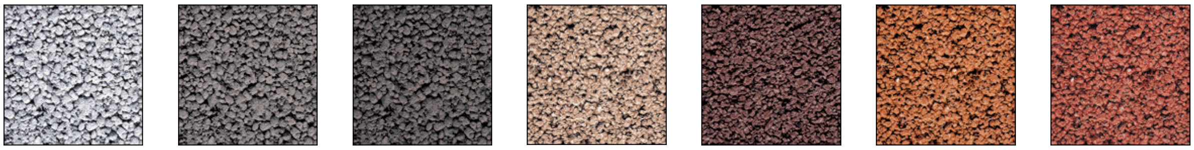
形状・寸法につきましては、ユニプレーン(P5)、インターロッキングブロック(P6)をご参照下さい。

### カラーバリエーション（ユニプレーン透水）

ホワイト　グレー　ブラック　ベージュ　ダークブラウン　オレンジ　レッド

●写真の製品の色は、印刷のため色調や質感が実物と若干異なる場合があります。

### カラーバリエーション（ノーマル透水）



ホワイト　グレー　ブラック　ベージュ　ダークブラウン　オレンジ　レッド

●写真の製品の色は、印刷のため色調や質感が実物と若干異なる場合があります。

ピクト表示について　標 標準　透 透水　保 保水　保透 保水･透水　R リサイクル

# 実績写真集

▲ノーマル（ダークブラウン）

▲ノーマル（ホワイト・ベージュ・グレー）

▲ノーマル透水（ホワイト・グレー・ダークブラウン）

▲レイントーン（白・灰）

▲レイントーン（灰・白）

▲レイントーン（黒・薄橙）※誘導両脇はノーマル（ブラック）

▲ユニプレーン（ホワイト・グレー）

▲ユニプレーン（ベージュ・ダークブラウン）

# 視覚障害者用誘導ブロック（JISタイプ）

標 R 保

## ●特長

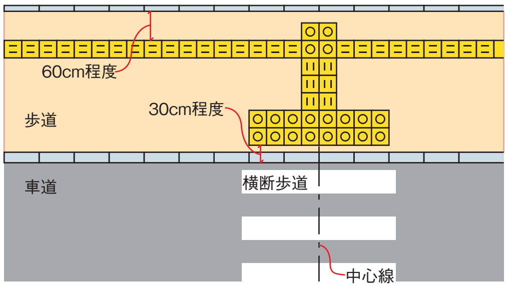
**1.JIS規格に沿った形状**
下図に示すように、JIS規格に沿った形状です。

**2.2種類の厚みをご用意**
厚み60mm、80mmの2種類を取り揃えています。

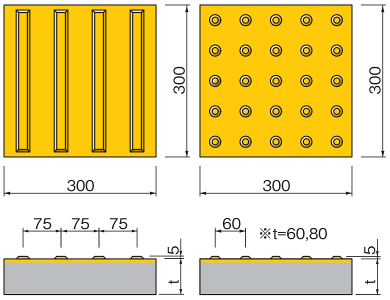
**3.高い視認性（特イエロー）**
従来の製品に比べて視認性を高め、輝度比確保しやすくなりました。

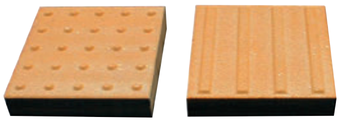
**4.保水性にも対 応**
保水性機能を有するクールトーンタイプの製造も可能で、保水性舗装が計画されている歩道に最適です。また、クールトーンタイプは吸水性が高いので、水が溜まりやすい線状突起間にも水が溜まりません。

### 視覚障害者誘導ブロック敷設のポイント




●線状ブロック　●点状ブロック



写真は厚み60mm

※大型車両が乗入れする箇所では、破損の恐れがありますのでご注意ください

## 視覚障害者用誘導ブロックとその周辺の舗装材に対して輝度比を要求される場合の配慮について

「道路の移動等円滑化整備ガイドライン」（国土技術研究センター発行）において、**「一般的に視覚障害者誘導用ブロックは黄色と認知されており、黄色が良いとする意見も多いため、黄色を基本とするが、路面の色彩が類似している場合、周囲の路面との輝度比を2.0程度確保することにより視覚障害者誘導用ブロックが容易に識別できることが必要である。」**と記載されており昨今、舗装材の割り付けにおいて「輝度比」を要求される事例が増加しつつあります。

輝度比2.0といっても、気象状況、舗装材の湿潤状況、経年変化（特に鹿児島県や宮崎県南部では降灰の問題）もあり、輝度比を特に要求される事例においては、新材計測時の輝度比3.0に近い色の組合せを推奨致します。

※詳しくは営業担当にご相談ください。

**【輝度とは】**

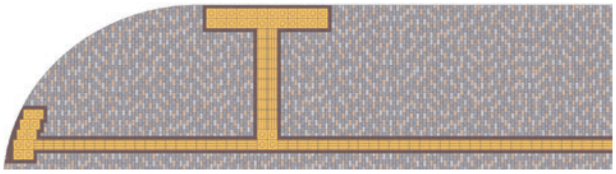
観察者から見て対象がどのくらい明るく見えるかを示すもので、対象の色や照明の強さによって変化します。同一の照明の下で2つの対象物の輝度を測定して輝度比を求めることができます。輝度比の求め方は何種類かありますが、誘導ブロックと周囲（歩道路面）の輝度を測定してその比を求めるのが単純な方法です。輝度の比が大きいほど明暗のコントラストが大きくなります。

$$\text{輝度比} = \frac{\text{誘導用ブロックの輝度（cd/㎡）}}{\text{歩道路面の輝度（cd/㎡）}}$$

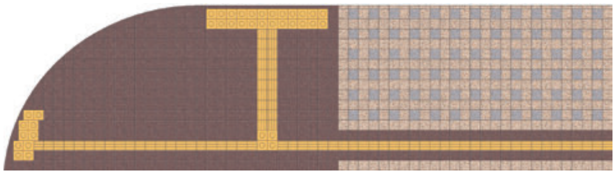
cd/㎡:輝度の単位
光源の表面の明るさの度合いを表す数値で、単位面積あたりの光度（cd:カンデラ）の度合いで決まる。

## 【輝度比を考慮した割付図例】

「グレー」「ホワイト」「ベージュ」を基調にした舗装パターンだが「特イエロー」の誘導ブロックの両脇に「ダークブラウン」を敷設する事で、輝度比を確保。



レイントーンの「薄橙」「灰」を基調にした舗装パターンだが、「特イエロー」の誘導ブロックの両脇にノーマルの「ダークブラウン」を敷設する事で、輝度比を確保。



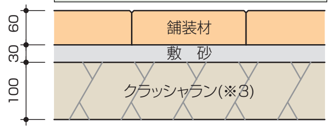
# 舗装構造図

この舗装構造図は(社)インターロッキングブロック舗装技術協会発行の「インターロッキングブロック舗装設計施工要領」(平成29年3月)に基づいていますが、別途検討が必要な現場の舗装構造については、この舗装構造を参考として、設計者の指示に従ってください。

### ■歩行者系道路(※1)の舗装構造例

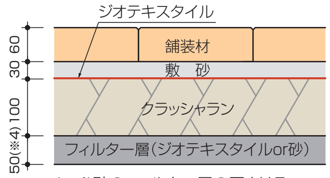
(※1)歩行者系道路:歩行者専用道路,自転車専用道路,自転車歩行者専用道路,公園内道路、広場等

標準品，リサイクル，保水 (表1参照)




(※3)路盤材としてクラッシャラン(C-40)や再生クラ ッシャラン(RC-40)を使用する場合には,敷砂の路盤への流出を防止するために路盤上にジオテキスタイルを使用することを標準とする。

透水性，保水･透水 (表2参照)

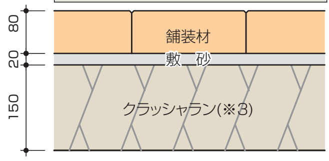



(※4)砂のフィルター層の厚さは5cm程度を標準とする。

### ■乗用車乗入れ部(※2)の舗装構造例

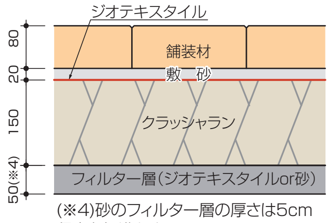
(※2)乗用車乗入れ部:駐車場･歩道などの乗用車乗入れ部,最大積載量6.5トン未満の管理車両が走行する道路

標準品，リサイクル，保水 (表3参照)




(※3)路盤材としてクラッシャラン(C-40)や再生クラ ッシャラン(RC-40)を使用する場合には,敷砂の路盤への流出を防止するために路盤上にジオテキスタイルを使用することを標準とする。

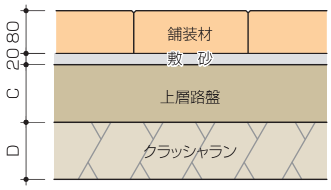
透水性，保水･透水 (表4参照)



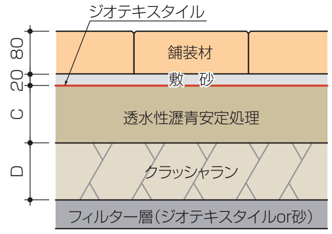

(※4)砂のフィルター層の厚さは5cm程度を標準とする。

### ■歩行者系道路の車両乗り入れ部の舗装構造例

標準品，リサイクル，保水 (表5参照)




透水性､保水･透水 (表5参照)




#### ■セグメンタルタイプ

車両が通行する箇所に用いられ､荷重伝達率0.3以上が確保されている式(1),(2)で定義されるインターロッキングブロック。

$$\frac{\text{ブロックの長辺}}{\text{ブロックの厚さ}} \leqq 4.0 \cdots (1) \qquad \frac{\text{ブロックの側面積の和}}{\text{ブロックの上面積}} \geqq 1.0 \cdots (2)$$

ただし,短辺≧50mm,厚さ≦120mm

#### ■当社舗装材で該当する形状

レンガブロック小(100×100×60･80)
レンガブロック中(200×100×60･80)
平板大(300×300×80)

#### ■フラッグタイプ

歩行者系道路に用いられ､荷重伝達率0.1以上が確保されている式(3)で定義されるインターロッキングブロック。

$$1.0 > \frac{\text{ブロックの側面積の和}}{\text{ブロックの上面積}} \geqq 0.65 \cdots (3)$$

ただし,短辺≧50mm,厚さ≦80mm

#### ■当社舗装材で該当する形状

平板大(300×300×60)

### ■表 1:歩行者系道路の舗装構造例 【標準品，リサイクル，保水】

単位:cm

| インターロッキングブロックのタイプ | インターロッキングブロック層 | | 路 盤 | 合計厚さ |
|---|---|---|---|---|
| | インターロッキングブロック | 敷 砂 | クラッシャランまたは再生クラッシャラン(※3) | |
| セグメンタルまたはフラッグ(曲げ強度3.0N/mm²以上) | 6 | 3 | 10 | 19 |

(※3)路盤材としてクラッシャラン(C-40)や再生クラ ッシャラン(RC-40)を使用する場合には,敷砂の路盤への流出を防止するために路盤上にジオテキスタイルを使用することを標準とする。

### ■表 2:歩行者系道路の舗装構造例 【透水性,保水･透水】

単位:cm

| インターロッキングブロックのタイプ | インターロッキングブロック層 | | | 路 盤 | フィルター層 | 合計厚さ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | インターロッキングブロック | 敷 砂 | ジオテキスタイル | クラッシャランまたは再生クラッシャラン | ジオテキスタイルまたは砂(※4) | |
| セグメンタルまたはフラッグ(曲げ強度3.0N/mm²以上) | 6 | 3 | ジオテキスタイル | 10 | ジオテキスタイル | 19 |

(※4)砂のフィルター層の厚さは5cm程度を標準とする。

### ■表 3:乗用車乗入れ部の舗装構造例 【標準品,リサイクル,保水】

単位:cm

| インターロッキングブロックのタイプ | インターロッキングブロック層 | | 路 盤 | 合計厚さ |
|---|---|---|---|---|
| | インターロッキングブロック | 敷 砂 | クラッシャランまたは再生クラッシャラン(※3) | |
| セグメンタル(曲げ強度3.0N/mm²以上) | 8 | 2 | 15 | 25 |

(※3)路盤材としてクラッシャラン(C-40)や再生クラ ッシャラン(RC-40)を使用する場合には,敷砂の路盤への流出を防止するために路盤上にジオテキスタイルを使用することを標準とする。

### ■表 4:乗用車乗入れ部の舗装構造例 【透水性,保水･透水】

単位:cm

| インターロッキングブロックのタイプ | インターロッキングブロック層 | | | 路 盤 | フィルター層 | 合計厚さ |
|---|---|---|---|---|---|---|
| | インターロッキングブロック | 敷 砂 | ジオテキスタイル | クラッシャランまたは再生クラッシャラン | ジオテキスタイルまたは砂(※4) | |
| セグメンタル(曲げ強度3.0N/mm²以上) | 8 | 2 | ジオテキスタイル | 15 | ジオテキスタイル | 25 |

(※4)砂のフィルター層の厚さは5cm程度を標準とする。

### ■表 5:歩行者系道路の車両乗入れ部の舗装構造例

単位:cm

| | | | 標準品、リサイクル、保水 | | | | | 透水 、保水･透水 | | | | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 乗入れする車種 | 交通量(N) | 交通量区分 | ブロック層 | | 上層路盤 | | 下層路盤 | ブロック層 | | | 路床条件 | 上層路盤 | 下層路盤 | 割増厚 | フィルター層(注4) | 必要$T_A$ |
| | | | ブロック | 敷砂 | C 瀝青安定処理 | C 粒度調整砕石 | D クラッシャラン | ブロック | 敷砂 | ジオテキスタイル | A,B(注1) | C 透水性瀝青安定処理 | D クラッシャラン | | | |
| 大型車両 | N＜15 | $N_1$ | 8 | 2 | – | 7 | 7 | 8 | 2 | ジオテキスタイル | A | 5(注3) | 7 | 0 | ジオテキスタイルまたは砂 | 9 |
| | | | | | | | | | | | B | 5(注3) | 7 | 16 | | |
| | 15≦N＜40 | $N_2$ | 8 | 2 | – | 7 | 7 | 8 | 2 | | A | 5(注3) | 7 | 0 | | 12 |
| | | | | | | | | | | | B | 5(注3) | 7 | 16 | | |
| | 40≦N＜100 | $N_3$ | 8 | 2 | 5 | — | 12 | 8 | 2 | | A | 5(注2) | 12 | 0 | | 15 |
| | | | | | | | | | | | B | 5(注2) | 12 | 18 | | |
| | 100≦N＜250 | $N_4$ | 8 | 2 | 8 | — | 19 | 8 | 2 | | A | 8(注2) | 19 | 0 | | 19 |
| | | | | | | | | | | | B | 8(注2) | 19 | 22 | | |
| | 250≦N＜1,000 | $N_5$ | 8 | 2 | 10 | 15 | 19 | 8 | 2 | | A | 15(注2) | 24 | 0 | | 26 |
| | | | | | | | | | | | B | 15(注2) | 24 | 27 | | |
| 乗用車、小型貨物自動車 | N＜300 | $S_1$ | 8 | 2 | – | 7 | 7 | 8 | 2 | ジオテキスタイル | A | 5(注3) | 7 | 0 | ジオテキスタイルまたは砂 | 12 |
| | | | | | | | | | | | B | 5(注3) | 7 | 16 | | |
| | 300≦N＜650 | $S_2$ | 8 | 2 | – | 8 | 10 | 8 | 2 | | A | 5(注3) | 10 | 0 | | 13 |
| | | | | | | | | | | | B | 5(注3) | 10 | 17 | | |
| | 650≦N＜3,000 | $S_3$ | 8 | 2 | 5 | — | 12 | 8 | 2 | | A | 5(注2) | 15 | 0 | | 15 |
| | | | | | | | | | | | B | 5(注2) | 15 | 19 | | |
| | N≧3,000 | $S_4$ | 8 | 2 | 8 | — | 19 | 8 | 2 | | A | 8(注2) | 19 | 0 | | 19 |
| | | | | | | | | | | | B | 8(注2) | 19 | 22 | | |

注1: Aは、砂質系で路床下へ浸透させる場合、あるいは集水管･放流孔で排水する場合を指し,Bは粘性系で集水管･放流孔を設置せず､路床下への浸透で対応する場合を指す。

注2: 大型車交通量が比較的多いため,安定度3.43kN以上,等値換算係数で0.80の混合物とする。

注3: 大型車交通量が少ないため,安定度2.45kN以上,等値換算係数で0.55の混合物とする。

注4: 路床細粒分の上昇,粒状路盤材の細粒分抽出による路床支持力の低下,浸透能力の阻害などが懸念される場合は,フィルター層を路床上に設置する。フィルター層は路床の浸透性能以上に透水性能を持ち,細粒分の流出防止に効果がある砂やジオテキスタイルを使用する。

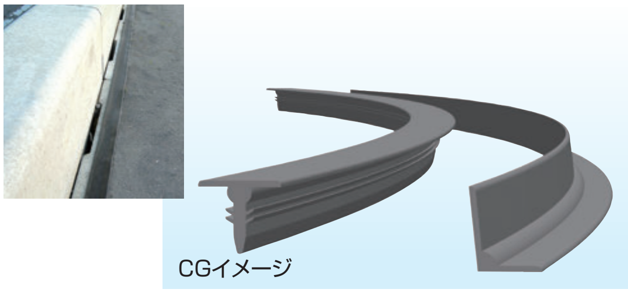
# みぞピタ〈防草シール材〉

みぞピタとは

…コンクリート構造物とアスファルト舗装の隙間から生える雑草を防止するゴム製のシール材です。

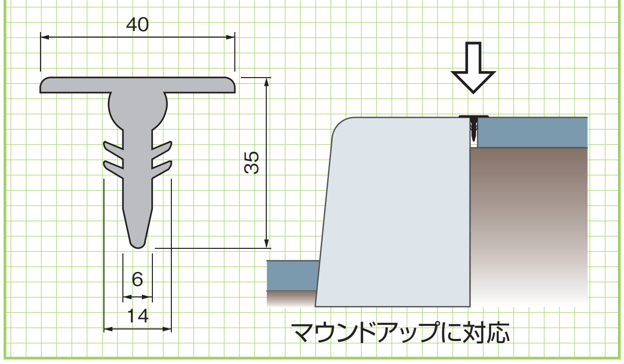
**●特長**

1.コンクリート構造物とアスファルト舗装の間にカッターをいれるため、隙間の中の雑草まで取り除くことができます。
2.特殊なくさび状の断面形状で溝から抜けにくくなっています。
3.新設時に使用できるタイプ(Bタイプ)もございます。

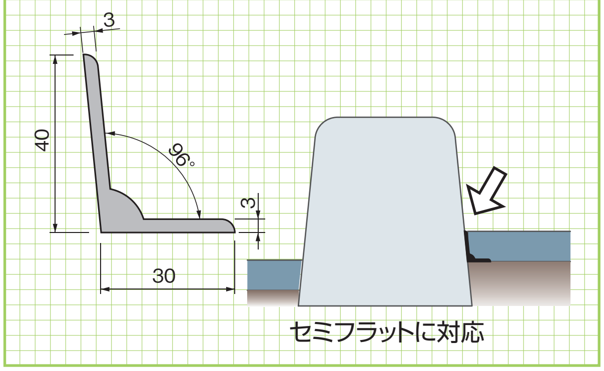



## 基本形状図

**Aタイプ**

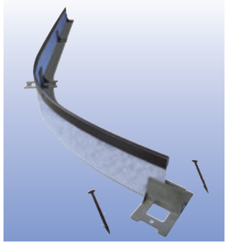



**Bタイプ**




# エッジボード〈GRC製仕切り板〉

GRC

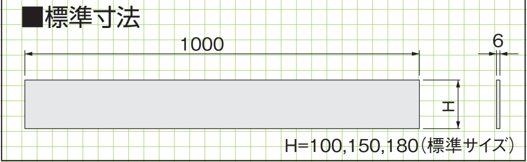


エッジボードは、芝生やグランドカバープランツと舗装材や砂地や植込みとの間に、綺麗な境界線をつくる新しい見切り材です。従来使われていた波板や杉板などの見切り材に比べて、様々な点で優れ、これからの公園づくりや街の景観整備にすばらしい効果を発揮します。

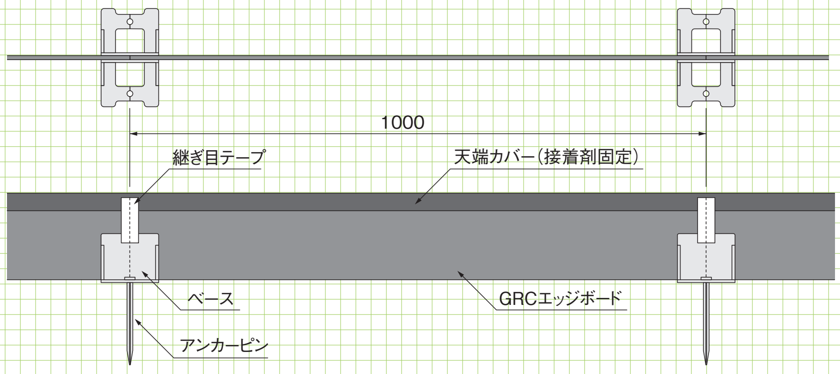
**●特長**

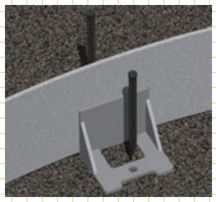
1.従来のプラスチック製品と違って、直線部が美しく仕上がります。
2.薄板なので、1mRのカーブも対応可能。美しいエッジラインを演出します。
3.主材がFRC製で熱に強く、アスファルト施工にも対応できます。
4.敷地の有効利用が可能で段差ができないバリアフリー対応です。

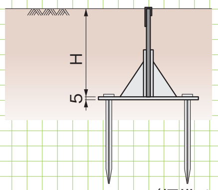
■形状･寸法




■標準施工図





Heartful innovation
# インフラテック株式会社

■本　　社　鹿児島市与次郎2丁目7番25号　〒890-0062
Tel.099(252)9911　Fax.099(259)4100

## ■営業本部

### ■第一営業部

| | |
|---|---|
| 鹿児島営業所： | 鹿児島市与次郎2丁目7番25号　〒890-0062<br>Tel.099(252)9978　Fax.099(259)4800 |
| 南薩営業所： | 鹿児島県南九州市知覧町瀬世牧口1160　〒897-0305<br>Tel.0993(84)2265　Fax.0993(84)2283 |
| 大島営業所： | 鹿児島県奄美市住用町城547　〒894-1111<br>Tel.0997(69)5311　Fax.0997(69)5055 |
| 北薩営業所： | 鹿児島県薩摩川内市中福良町2135-1　〒895-0042<br>Tel.0996(27)1930　Fax.0996(27)2962 |
| 姶良営業所： | 鹿児島県姶良市平松1880　〒899-5652<br>Tel.0995(65)3221　Fax.0995(65)3205 |
| 大隅営業所： | 鹿児島県鹿屋市川西町4029-2　〒893-0032<br>Tel.0994(43)4002　Fax.0994(43)4006 |
| 沖縄営業所： | 沖縄県那覇市宇栄原6-14-5<br>ヒロマンション101号　〒901-0153<br>Tel.098-943-5624　Fax.098-943-5629 |

### ■第二営業部

| | |
|---|---|
| 宮崎営業所： | 宮崎市田代町6-1　〒880-0855<br>Tel.0985(20)9241　Fax.0985(20)9059 |
| 日南営業所： | 宮崎県日南市大字平山390　〒887-0033<br>Tel.0987(23)5500　Fax.0987(23)3580 |
| 都城営業所： | 宮崎県都城市高城町石山2980　〒885-1205<br>Tel.0986(58)4518　Fax.0986(58)4826 |
| 延岡営業所： | 宮崎県延岡市北方町角田丑1042　〒882-0104<br>TEL.0982(28)5015　FAX.0982(28)5442 |
| 大分営業所： | 大分市上戸次字長河原3700番地　〒879-7764<br>Tel.097(597)1148　Fax.097(597)1607 |

### ■第三営業部

| | |
|---|---|
| 福岡営業所： | 福岡市博多区東比恵3丁目13-10<br>スピリッツ福岡B・C号室　〒812-0007<br>Tel.092(474)2450　Fax.092(451)5259 |
| 北九州営業所： | 北九州市小倉南区下城野3丁目1-25　〒802-0804<br>オフィスパレア下城野I B棟4号<br>Tel.093(482)3581　Fax.093(482)3583 |
| 福岡南営業所： | 福岡県みやま市瀬高町廣瀬705番地　〒835-0001<br>Tel.0944(62)4123　Fax.0944(63)3281 |
| 対馬出張所： | 長崎県対馬市上県町樫滝1062　〒817-1522<br>Tel.0920(88)5800　Fax.0920(88)5801 |
| 熊本営業所： | 熊本市中央区八王寺町30-1<br>メインプレイス熊本南2-A　〒860-0831<br>Tel.096(378)5531　Fax.096(378)5532 |

### ■東日本営業部

| | |
|---|---|
| 東京営業所： | 東京都港区西新橋1-18-6<br>クロスオフィス内幸町9F　〒105-0003<br>Tel.03(6205)4282　Fax.03(6205)4283 |
| 南アルプス営業所： | 山梨県南アルプス市荊沢386　〒400-0422<br>TEL.055(284)6230　FAX.055(284)6237 |
| 仙台営業所： | 仙台市青葉区上杉3-9-4　マエタビル3F　〒980-0011<br>Tel.022(211)5131　Fax.022(211)5132 |

### ■西日本営業部

| | |
|---|---|
| 大阪営業所： | 大阪市淀川区西中島6-1-1<br>新大阪プライムタワー5F　〒532-0011<br>Tel.06(6306)6393　Fax.06(6302)0255 |
| 和歌山営業所： | 和歌山県岩出市高瀬若宮84-2<br>岩出NDビル101号室　〒649-6234<br>Tel.0736(69)1780　Fax.0736(62)1720 |
| （田辺）： | 和歌山県西牟婁郡上富田町市ノ瀬78-1　〒649-2107<br>Tel.0739(48)0331　Fax.0739(49)0213 |
| （御坊）： | 和歌山県日高郡日高町原谷270番地　〒649-1201<br>Tel.0738(63)2237　Fax.0738(63)2515 |
| 広島営業所： | 広島市佐伯区旭園3番33号清水ビル5F　〒731-5133<br>Tel.082(943)5441　Fax.082(924)2056 |
| 京都営業所： | 京都市伏見区深草鞍ヶ谷12番地6　〒612-0822<br>Tel.075(646)2525　Fax.075(646)3877 |
| 兵庫営業所： | 兵庫県小野市万勝寺町969-1　〒675-1311<br>Tel.0794(70)7280　Fax.0794(70)7302 |
| 鳥取営業所： | 鳥取市上段261-1　〒680-1421<br>Tel.0857(24)1840　Fax.0857(23)0018 |
| 出雲営業所： | 島根県出雲市斐川町上庄原1654-3　〒699-0505<br>Tel.0853(72)0244　Fax.0853(72)0245 |
| 名古屋営業所： | 名古屋市熱田区神宮3-7-1　べんてんビル5F　〒456-0031<br>Tel.052(684)7258　Fax.052(684)7259 |
| 三重営業所： | 三重県伊勢市小俣町元町1603-1　〒519-0503<br>Tel.0596(22)1285　Fax.0596(22)1293 |
| 静岡営業所： | 静岡県掛川市本郷416番地　〒436-0111<br>Tel.0537(26)2221　Fax.0537(26)0519 |

### ■設計技術部

| | |
|---|---|
| 鹿児島設計技術課： | 鹿児島市与次郎2丁目7番25号　〒890-0062<br>Tel.099(252)9978　Fax.099(259)4800 |
| 宮崎設計技術課： | 宮崎市田代町6-1　〒880-0855<br>Tel.0985(20)9241　Fax.0985(20)9059 |
| 福岡設計技術課： | 福岡市博多区東比恵3丁目13-10<br>スピリッツ福岡B・C号室　〒812-0007<br>Tel.092(474)2450　Fax.092(451)5259 |
| 西日本設計技術課： | 大阪市淀川区西中島6-1-1<br>新大阪プライムタワー5F　〒532-0011<br>Tel.06(6306)6393　Fax.06(6302)0255 |
| 東日本設計技術課： | 東京都港区西新橋1-18-6<br>クロスオフィス内幸町9F　〒105-0003<br>Tel.03(6205)4282　Fax.03(6205)4283 |

## ■総合技術研究所

| | |
|---|---|
| 鹿児島技術課：<br>開発課： | 鹿児島県姶良市平松3141-1　〒899-5652<br>Tel.050(3085)9434　Fax.0995(55)1070 |
| 兵庫技術課： | 兵庫県小野市万勝寺町969-1　〒675-1311<br>Tel.0794(70)7280　Fax.0794(70)7302 |

## ■関連会社

### 東京セメント工業(株)

| | |
|---|---|
| 本　　社： | 東京都八王子市台町2丁目15番20号　〒193-0931<br>Tel.042(623)7788　Fax.042)(625)1777 |
| 関東営業所： | 東京都八王子市台町2丁目15番20号　〒193-0931<br>Tel.042(624)5485　Fax:042(624)0496 |
| 福島営業所： | 福島県西白河郡矢吹町諏訪の前15番地　〒969-0247<br>Tel.0248(44)2611　Fax.0248(44)2614 |
| 栃木営業所： | 栃木県那須塩原市鍋掛1091番43　2F　〒325-0013<br>Tel.0287(62)2340　Fax.0287(62)2342 |
| 仙台営業所： | 宮城県大崎市松山千石字一本松51番地　〒987-1304<br>Tel.0229(55)3131　Fax.0229(55)3139 |
| 仙台事務所： | 仙台市青葉区北目町1番18号<br>ピースビル北目町 8F　〒980-0023<br>Tel.022(796)5071　Fax.022(796)5072 |
| 技　術　部： | 東京都八王子市台町2丁目15番20号　〒193-0931<br>Tel.042(624)5485　Fax:042(624)6373 |
| 開発事業部： | 東京都八王子市台町2丁目15番20号　〒193-0931<br>Tel.042(623)7783　Fax:042(625)1777 |

### 鹿軽量(株)

| | |
|---|---|
| 本　　社： | 鹿児島県鹿屋市旭原町2732番地号　〒893-0022<br>Tel.0994(43)4004　Fax:0994(44)3474 |
| 栗野営業所： | 鹿児島県姶良郡湧水町米永2956-4　〒899-6207<br>Tel.0995(74)4856　Fax:0995(74)4896 |

### 山口インフラテック(株)

山口県防府市大字植松741　〒747-0836
Tel.0835(29)0021　Fax.0835(29)2940

### (株)佐藤コンクリート工場

| | |
|---|---|
| 本　　社： | 福岡市東区多の津四丁目16番15 号　〒813-0034<br>Tel.092(612)2311 |
| 飯 塚 工 場： | 福岡県飯塚市内住2795　〒820-0713<br>Tel.0948(72)4335　Fax:0948(72)4336 |

※社会情勢により、やむなく価格、形状を変更する場合がございますので
ご了承ください。

注意

- ●施工に不備があると、損傷などの原因となることもあります。不明な点は弊社または販売代理店にご相談ください。
- ●本カタログに記載する製品の仕様および性能は、該当製品の一般的な使用条件として掲示するものです。特殊な条件で使用される場合には、事前に弊社の担当者にご相談の上、技術的な確認を行ってください。


**インフラテック株式会社**
本社
〒890-0062　鹿児島市与次郎2-7-25
Tel.099(252)9911　Fax.099(259)4100
http://www.infratec.co.jp/